学費について

合格した場合、手続締切日までに入学手続が必要です。
入学手続の中には、入学金・1年前期分授業料・施設設備費・演習充実費の納付金が含まれます。
納入された学費につきまして、令和8年3月31日までに辞退の意思表示があった場合、
入学金を除く授業料・施設設備費・演習充実費につきましては返還いたします。

▲募集要項はこちらから
ご確認いただけます

TOPICS

＼ 学び方も、ひとそれぞれ！ ／

長期履修制度のご案内

「長期履修制度」とは、通常2年間で修了する課程を、プラス1年の3年間で習得するなど、
計画的に修業年限を延ばして履修できる制度です。
じっくりと時間をかけて学べるだけでなく、資格取得やアルバイトなど、時間を有効活用しながら自分に合った学びが実現できます。

経済的負担を軽減したい　自分のペースで学びたい　働きながら学びたい　学び直しをしたい

参考例　履修方法・授業納入方法の違い

※その他諸経費についても分割しての納入になります

○通常2年間の場合

入学 → 1年次（900時間履修／授業料59万円） → 2年次（900時間履修／授業料59万円） → 卒業

○長期履修3年間の場合

入学 → 1年次（600時間履修／授業料39万円） → 2年次（600時間履修／授業料39万円） → 3年次（600時間履修／授業料39万円） → 卒業

対象学科

3年間への長期履修

情報システム学科／建築・デザイン学科／Webクリエイター学科／ホテル・ブライダル学科／美容・医療事務学科／情報ビジネス学科／インターナショナルビジネス学科

4年間への長期履修

歯科衛生士学科／ゲームクリエイター学科

2年間への長期履修

建築士研究科／診療情報管理士研究科

注意事項

- 一部の科目には教育課程の配慮から履修順序に制限が加わる場合があります。
- 各学年では通常の修業年限で指定されている単位の半分以上の履修が必要となります。
- 制度の利用または変更の申請は【入学時】または【進級時】のみとなります。学内にて審査の結果、通知書を発行いたします。
- 長期履修制度を申請する受験者は、合格した場合に本校への入学を確約できる者に限ります。

奨学金について

奨学金の基本

○Bitで使用できる奨学金は、大きくわけて3つ

公的な奨学金
最も有名で利用者が多い
日本学生支援機構（JASSO）

民間の奨学金
例 富山県奨学金制度
など

Bit独自の奨学金
- 空間情報専攻の奨学金制度
- 特待生入学試験
- 進級時特待生制度

※詳細はP65をチェック

PICK UP! 日本学生支援機構（JASSO）の場合

返済する必要がある
貸与型
- 第一種：利子がつかない
- 第二種：利子がつく

返済する必要がない
給付型　免除型　減免型

高等教育の修学支援制度
（2020年4月よりスタート）
Bitは修学支援制度の設定校です!!

＼ 自分に最適な制度を見つけよう！ ／

○専門学生が使える学費支援制度の一例

日本学生支援機構（JASSO） ▶P64参照	最も代表的な国の奨学金制度。 第1種（利息なし）と第2種（利息あり）の他に給付型（返済不要）、 入学時特別増額貸与奨学金（貸与型）があります。 文部科学省「高等教育の修学支援制度（高等教育無償化）」認定校
都道府県・市町村の奨学金	住んでいる地域の自治体が実施。（貸与型・給付型） ● 富山県奨学金制度 富山県内に居住する者の子弟でかつ日本学生支援機構など、他の貸与型の奨学金を受けていない者が対象となり、月額44,000円（無利子）が貸与されます。募集の時期は入学後の4月頃となります。学力基準・家計基準により選考され、募集人数には限りがあります。申込条件などの詳細については本校までお問い合わせください。また、県内各自治体奨学金制度があります。自治体により対象者や貸与（給付）資格、募集人数等は異なります。詳しい内容は、それぞれの自治体（奨学金担当）へお問い合わせください。
学校独自の奨学金 ▶P.65参照	成績優秀者を対象にした制度など、進学先の学校によって様々。 当校では、勉強に対する意識・意欲があり、学校全体の士気向上を目的とした、入学時、進級時のプレゼンテーション型奨学金制度があります。
国の教育ローン	日本政策金融公庫が実施。 富山県は「日本政策金融公庫富山支店」で行っています。
各種教育ローン	● あしなが育英会　● 交通遺児育英会　● 母子父子寡婦福祉資金貸付金　など

日本学生支援機構

最も代表的な国の奨学金制度。
給付型（返済不要）と貸与型（返済必要）の2種類あります。

学費・奨学金の詳細については、
別冊の募集要項をご覧ください。
資料請求はこちら!!

給付型

富山情報ビジネス専門学校は「高等教育の修学支援新制度」認定校！

高等教育の修学支援新制度（授業料等減免＋給付型奨学金）は、住民税非課税世帯およびこれに準ずる世帯を対象とした国の支援制度です。

授業料等減免 上限額まで授業料等の減免が実施されます。

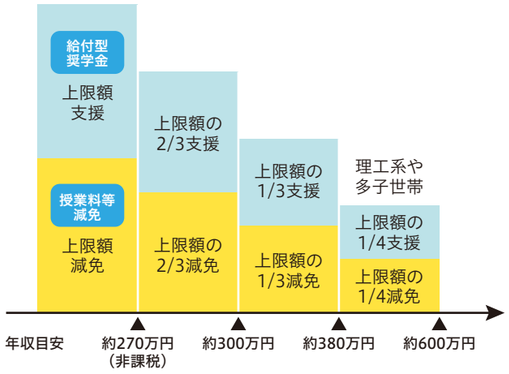
＜授業料等減免の上限額（年額）（住民税非課税世帯）＞

入学金	授業料
約16万円	約59万円

給付型奨学金 学生が学業に専念するため、学生生活を送るのに必要な学生生活費を賄えるよう措置されます。

＜給付型奨学金の給付額（年額）（住民税非課税世帯）＞

自宅生	自宅外生
約32万円	約91万円



［両親・本人・中学生の家族4人世帯の場合の目安。
基準を満たす世帯年収は家族構成により異なります。］

2025年度入学生の場合（例）

	入学金	授業料	施設設備費	演習充実費	初年度納付金合計
前期	200,000円	295,000円	70,000円	60,000円	1,050,000円
後期	―	295,000円	70,000円	60,000円	

最大 **16万円** まで減免

最大 **全額** まで減免

※入学金最大16万円・授業料最大29万5千円（合計45万5千円）が免除されます。ただし、区分決定時期に変動があるため、一旦全額を納入いただき、学内手続き終了後に減免額を還付します。
※研究科・留学生は給付型奨学金の対象外となります。

貸与型

種類	利息	貸与月額
第一種	無利息	2～5万3千円（自宅生）／ 2～6万円（自宅外生）
第二種	上限年利3％（在学中は無利息）	2～12万円（1万円単位で選択）
第一種・第二種併用	第一種貸与分は無利息 第二種貸与分は上限年利3％ （在学中は無利息）	第一種と第二種を合算した金額 （第二種の貸与月額は上記金額から選択できます）

Webでさらに詳しく！ https://www.jasso.go.jp/
詳細は日本学生支援機構のホームページをご覧ください。

HP　シミュレーター

進学した際、奨学金を借りることができるのかを調べることができます

学校独自の奨学金制度

建築・デザイン学科

空間情報専攻の奨学金制度

返済不要、給付型奨学金500,000円
（1年次 前期250,000円、後期250,000円）
※対象要件あり

全学科共通

特待生選抜（プレゼンテーション型）

出願者全員の入学検定料（20,000円）を免除。入学試験（プレゼンテーション）合格者の中から選抜された方に授業料（最大590,000円）や施設設備費の免除特典があります。
※授業料は学科毎に異なり、それに伴い免除額も異なります。 ▶P60参照

進級時特待生制度

プレゼンテーション試験の成績により「進級時特待生」として認定された学生に対して、授業料免除などの得点を付与。

学生の意識・意欲を高め、学校全体の士気向上を目的とした奨学金制度です。
単に成績の良し悪しだけで特待生を選考するのではなく、自分の夢や目標を多くの人の前で熱く語れる人材こそ、私たちが望む「富山情報ビジネス専門学校の代表者」です。進級時特待生へのチャレンジは入学と同時にスタートします。

■プレゼンテーション試験の成績により、選抜された方に以下の特典が決定されます。

※学費は学科毎に異なり、それに伴い免除額も異なります。

- **Ⅰランク** 年間の授業料 **59** 万円免除
- **Ⅱランク** 前期の授業料 **29.5** 万円免除
- **Ⅲランク** 前期の演習充実費 **11** 万円免除

STUDENT'S VOICE
進級時特待生インタビュー

情報ビジネス学科
データマーケティング専攻
松井 稔通さん
不二越工業高等学校 出身

合格の喜びを、家族や友人と分かち合えました。

1年次に学内外で発表を行う機会が何度かあり、自分のプレゼン力を確かめたいという思いもあって選抜に挑戦しました。Bitで取り組んできたこと、そしてこれからやりたいことを分かりやすく伝えるため、印象的な画像を多用し、文字は最小限にしてプレゼン資料を作成しました。僕なりに入念に準備したつもりなので、当日は緊張はしたものの、それ以上に自信を持って臨めました。結果を出せたことはもちろん、自分の考えを人前で話す経験から得られたことも多く、挑戦して良かったと思っています。

Webクリエイター学科
Webクリエイター専攻
桜栄 円香さん
富山県立高岡高等学校 出身

特待生の名に恥じないよう学生生活を充実させていきます。

Bitで磨いたコーディングやプログラミングの技術にどれくらい説得力を持たせられるか試したいと思ったのが、選抜に応募した一番の理由です。そのため、プレゼン資料はWebサイト形式とし、自分の個性が出るよう、少しくだけた内容に仕上げました。本番は緊張はしましたが、先生が問いかけに応えてくださったこともあり、和やかな空気の中で発表をすることができました。「人に伝える」ということの大切さを再確認する機会にもなり、この経験を普段のコミュニケーションにも活かしていきたいです。